

牛群検定通信 No118

～ G a r b a g e i n、G a r b a g e o u t (G I G O) ～

冒頭から酷い言葉で始まって恐縮です。これは情報関係で使われる言葉で、日本語で「ゴミからはゴミしか生まれない」という意味です。G I G Oという略語まであります。牛群検定は情報の宝庫（玉手箱）とも言われることがあります。しかし、牛群検定にとって最も大事な器具である乳量計を正しく使用し正しい測定値を得なければ、牛群検定はただのゴミ箱になってしまいます。

1 乳量計の洗浄

乳量計が付けっぱなしでホコリだらけになっていませんか？また、ミルカーと一緒に洗っているから大丈夫と思っていないませんか？乳量計は繊細な測定器具です。以下のように取り扱う必要があります。不潔な乳量計は、情報がゴミになるどころか、真空圧の変化や細菌の繁殖により乳房炎の原因にもなります。

(1) 毎回 予洗い

水またはぬるま湯を通して、検定前に予洗いを行います。

(2) 毎回 アルカリ洗剤

検定後の洗浄で、乳脂肪や蛋白質の汚れを除去します。

(3) 3～4日ごと 酸洗剤

検定後の洗浄で、マグネシウムやカルシウムなどの汚れを除去します。

(4) 週1回少なくとも月1回 分解洗浄

チーズ状の汚れやパッキンの異常などを確認しながら分解洗浄します。
組立ではエア漏れを必ず確認してください。また、冬季の乾燥時には、
凍結に気をつけてください。(※)

(5) 年1回 性能検査

試験的に一定量の水などを用い正確な測定が出来ることを確認します。
詳細な方法は、乳用牛群検定全国協議会のHPに掲載されています。
「乳用牛群検定全国協議会」で「検索」してください。

2 乳量計の使用

正しく乳量計を使用していますか？ポイントを紹介します。

(1) 乳量計は垂直にして使用する

傾きに強い乳量計も販売されていますが、どのようなものでも垂直が基本です。

(2) 目盛りは泡の下を読む

泡の下を読みとります。暗い牛舎ではペンライトなどを用います。

(3) サンプルング

攪拌がエア式の場合は、乳量20kg以下の場合10秒以上、20kg以上の場合は15秒以上攪拌させます。

(※) ツルーテスト社製の乳量計は、分解洗浄を実演したDVDがあります。
ご希望の方はメールでお問い合わせください。 toiawase@liaj.or.jp